令和2年度 決算の概要をお知らせします

問合先／本庁財政課財政G（内線4732）

決算の状況

令和2年度の一般会計および特別会計の決算は、1表のとおり歳入歳出差引35億1018万円となり、翌年度へ繰り越すべき財源9億9367万円を控除した実質収支は、25億1651万円となりました。

歳入は、国庫支出金が208億5660万円で最も高く、市税が137億9962万円で、地方交付税が134億6948万円と続きます。

歳出は、総務費が199億7158万円で最も高く、民生費が158億9165万円と続きます。

また、全会計の市債残高（次ページ2表）は495億1786万円で、前年度に比べ8億3193万円の減、基金残高（次ページ3表）は163億8943万円で、前年度に比べ3億4490万円の減となりました。

一般会計

〈歳入〉

項目	金額	項目	金額
国庫支出金	208億5,660万円	法人事業税交付金	8,203万円
市税	137億9,962万円	ゴルフ場利用税交付金	2,763万円
地方交付税	134億6,948万円		
県支出金	48億3,421万円	環境性能割交付金	2,140万円
市債	42億3,990万円		
繰越金	34億9,574万円	株式等譲渡所得割交付金	1,972万円
繰入金	31億3,995万円		
地方消費税交付金	20億8,002万円	配当割交付金	1,948万円
使用料及び手数料	7億5,731万円	国有提供施設等所在市町村助成交付金	1,869万円
諸収入	5億9,575万円		
寄附金	5億9,129万円		
地方譲与税	5億5,899万円	交通安全対策特別交付金	1,234万円
財産収入	4億5,113万円		
分担金及び負担金	2億 679万円	利子割交付金	666万円
地方特例交付金	9,896万円	合計	693億8,369万円

〈歳出〉

項目	金額
総務費	199億7,158万円
民生費	158億9,165万円
衛生費	60億1,628万円
公債費	51億 577万円
教育費	49億6,446万円
土木費	48億7,546万円
商工費	27億8,445万円
農林水産業費	22億8,732万円
消防費	21億1,550万円
災害復旧費	12億2,608万円
諸支出金	8億5,496万円
議会費	2億6,648万円
労働費	3,682万円
予備費	0万円
合計	663億9,681万円

令和2年度実質収支

1表

	一般会計	特別会計	計
歳入 ①	693億8,369万円	263億5,868万円	957億4,236万円
歳出 ②	663億9,681万円	258億3,538万円	922億3,219万円
差引（①-②）	29億8,688万円	5億2,330万円	35億1,018万円
翌年度へ繰り越すべき財源 ③	8億2,057万円	1億7,309万円	9億9,367万円
実質収支（①-②-③）	21億6,631万円	3億5,020万円	25億1,651万円

※計などについては、端数処理の関係で一致しない場合があります。

令和2年度に実施した主な投資的事業

- コンベンション施設整備事業
- 橋梁（りょう）維持補修事業
- 道路長寿命化事業
- 天辰第二地区土地区画整理事業
- 小・中学校情報通信ネットワーク環境施設整備事業

特別会計

〈歳入〉

項目	金額
国民健康保険事業	112億7,552万円
介護保険事業	108億3,831万円
後期高齢者医療事業	13億5,999万円
天辰第二地区土地区画整理事業	10億8,894万円
国民健康保険直営診療施設勘定	9億 339万円
入来温泉場地区土地区画整理事業	4億7,203万円
天辰第一地区土地区画整理事業	3億6,663万円
温泉給湯事業	4,169万円
浄化槽事業	1,218万円
合計	263億5,868万円

〈歳出〉

項目	金額
国民健康保険事業	111億6,663万円
介護保険事業	106億1,052万円
後期高齢者医療事業	13億5,627万円
天辰第二地区土地区画整理事業	10億4,131万円
国民健康保険直営診療施設勘定	8億9,682万円
入来温泉場地区土地区画整理事業	3億6,854万円
天辰第一地区土地区画整理事業	3億4,365万円
温泉給湯事業	3,946万円
浄化槽事業	1,218万円
合計	258億3,538万円

公営企業会計

公営企業会計区分			予算額	執行額	執行率
水道事業	収益的収支	収入	18億5,692万円	18億2,529万円	98.3%
		支出	16億3,872万円	15億7,481万円	96.1%
	資本的収支	収入	3億1,180万円	2億9,353万円	94.1%
		支出	10億9,122万円	10億5,396万円	96.6%
簡易水道事業	収益的収支	収入	3億1,803万円	3億2,686万円	102.8%
		支出	3億 567万円	2億8,579万円	93.5%
	資本的収支	収入	1億6,404万円	1億2,158万円	74.1%
		支出	2億3,806万円	1億9,040万円	80.0%
下水道事業	収益的収支	収入	9億2,284万円	9億3,201万円	101.0%
		支出	9億 989万円	8億1,078万円	89.1%
	資本的収支	収入	12億 413万円	7億1,779万円	59.6%
		支出	14億7,012万円	9億6,159万円	65.4%

市有財産現在高（令和2年度末）

3表

区分	令和2年度末現在高	令和元年度末との比較増減
山林	8,004万1,553.52㎡	1万6,437.25㎡増
山林以外の土地	1,584万3,776.51㎡	10万7,317.97㎡減
建物	63万7,827.00㎡	5,818.22㎡減
有価証券	4,628万円	－
出資による権利	2億7,471万円	－
債権	6億1,936万円	841万円減
基金	163億8,943万円	3億4,490万円減

市債（市の借入金）の現在高

2表

会計	項目	金額
一般会計	臨時財政対策債	177億2,761万円
	土木債	50億3,533万円
	教育債	43億7,045万円
	総務債	34億5,995万円
	消防債	20億8,090万円
	衛生債	17億2,111万円
	農林水産業債	11億3,227万円
	災害復旧債	3億1,601万円
	商工債	2億 215万円
	減税補填（ほてん）債	1億6,304万円
	公営企業出資債	1億6,047万円
	減収補填（ほてん）債	1億2,540万円
	一般会計〈合計〉	364億9,469万円
特別会計	天辰第一地区土地区画整理事業	8億3,140万円
	天辰第二地区土地区画整理事業	4億5,816万円
	入来温泉場地区土地区画整理事業	3億9,502万円
	国民健康保険直営診療施設勘定	5,850万円
	浄化槽事業	2,191万円
	特別会計〈合計〉	17億6,499万円
公営企業会計	下水道事業	58億1,779万円
	水道事業	46億6,742万円
	簡易水道事業	7億7,297万円
	公営企業会計〈合計〉	112億5,818万円

全会計市債残高〈合計〉

令和2年度末全会計市債残高〈合計〉①	495億1,786万円
令和元年度末全会計市債残高〈合計〉②	503億4,979万円
比較増減（①－②）	△8億3,193万円

※計などについては、端数処理の関係で一致しない場合があります。

市民1人当たりでは…

令和2年度末市民1人当たりの全会計市債残高③	53万1,770円
令和元年度末市民1人当たりの全会計市債残高④	53万5,824円
比較増減（③－④）	△4,054円

用語解説

- **一般会計**…予算の中心となる基本的・一般的な会計であり、他の会計に属さないものは、全てこの会計で処理される
- **特別会計**…特定の事業を行う場合や特定の歳入をもって特定の歳出に充て、一般会計の歳入歳出と区別して経理する会計のこと
- **民生費**…児童・高齢者・障害者の福祉などの経費
- **総務費**…庁舎などの維持管理、税金の徴収、戸籍管理、選挙などの経費
- **衛生費**…保健衛生や環境対策、ごみ処理対策などの経費
- **公債費**…これまでの施設整備などで借りたお金の返済のための経費
- **商工費**…商工業や観光振興などの経費
- **労働費**…労働者福祉などの経費
- **国庫支出金**…特定の事業に対して、国から交付されるお金
- **繰入金**…基金の取り崩しや他会計から入れるお金
- **繰越金**…前年度から繰り越されたお金
- **分担金及び負担金**…土地改良や保育園の保育料など、事業実施に伴う受益者からの分担金・負担金
- **翌年度へ繰り越すべき財源**…令和2年度に事業を完了できず、令和3年度へ実施を繰り越した事業の財源
- **実質収支**…歳入歳出差引額から翌年度へ繰り越すべき財源を差し引いた額で、地方公共団体の財政運営の良否を判断する重要なポイントとなる